

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-501524(P2005-501524A)

【公表日】平成17年1月20日(2005.1.20)

【年通号数】公開・登録公報2005-003

【出願番号】特願2002-589706(P2002-589706)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	31/7115	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 1 2 N	9/00	(2006.01)
C 1 2 Q	1/02	(2006.01)
C 1 2 N	5/06	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	31/7115	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	35/00	
C 0 7 K	14/47	
C 1 2 N	9/00	
C 1 2 Q	1/02	
C 1 2 N	5/00	E

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月13日(2005.5.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリペプチドであって、(a)配列番号158のアミノ酸配列もしくは配列番号158のアミノ酸配列と98%以上の同一性を有するアミノ酸配列；または(b)配列番号167のアミノ酸1~247もしくは配列番号167のアミノ酸1~247と98%以上の類似性を有するアミノ酸配列を含む、ポリペプチド。

【請求項2】

配列番号146を含むか、もしくは配列番号146と95%以上の同一性を有する、核酸。

【請求項3】

配列番号148を含むか、もしくは配列番号148と95%以上の同一性を有する、請求項2に記載の核酸。

【請求項4】

配列番号150を含むか、もしくは配列番号150と95%以上の同一性を有する、請求

項 2 に記載の核酸。

【請求項 5】

配列番号 1 5 2 を含むか、もしくは配列番号 1 5 2 の核酸配列と 9 5 % 以上の同一性を有する、請求項 2 に記載の核酸。

【請求項 6】

配列番号 1 5 5 を含むか、もしくは配列番号 1 5 5 と 9 5 % 以上の同一性を有する、請求項 2 に記載の核酸。

【請求項 7】

配列番号 1 5 7 を含むか、もしくは配列番号 1 5 7 と 9 5 % 以上の同一性を有する、請求項 2 に記載の核酸。

【請求項 8】

配列番号 1 6 6 を含むか、もしくは配列番号 1 6 6 と 9 5 % 以上の同一性を有する、請求項 2 に記載の核酸。

【請求項 9】

細胞内で、アポトーシス誘導を促進する薬剤を同定する方法であって、該方法は、以下の工程：

(a) 該薬剤を請求項 1 に記載のポリペプチドまたは請求項 2 に記載の核酸と接触させる工程であって、該薬剤は、該ポリペプチドまたは該核酸に結合する、工程；

(b) 該薬剤を該細胞内に導入する工程；および

(c) 該細胞内でアポトーシスレベルを測定する工程であって、該細胞内のアポトーシスレベルの増加は、該薬剤がアポトーシス誘導を促進することを示す、工程を包含する、方法。